



福山西ロータリークラブ 例会情報



(2020~2021年度)

[第1410回例会]-(01)

会長 佐藤 教夫 幹事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2020年7月7日(火)
12:30~13:10
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)
食事

例会情報 [会 長 報 告](#)
[幹 事 報 告](#)
[出 席 報 告](#)
[S A A 報 告](#)
[ス マ イ ル 報 告](#)
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)

・会長・幹事所信表明

[そ の 他 報 告](#)

・“ロータリーの友”誌紹介

その他情報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)
[今 後 の 行 事 予 定](#)
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

【 会 長 挨拶 】

いよいよ新しい年度のスタートです。

本年度会長を務めさせていただきます佐藤です。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

前会長、幹事の下平さん、笹田さんをはじめ理事・役員の皆様、大変ご苦労さまでした。

今年は、春先以来、新型コロナウイルスにより大変な状況となりまして、ロータリーの大事な行事も中止となってしまいました。

改めて気が付くのですが、ロータリークラブにとりまして、次年度への準備のための大切な行事がこの時期に集中していることです。

RLI、PETS、地区研修や IM も中止となってしまいました。我がクラブにとりまして、3カ月も例会が開けないという異常事態が続きました。せっかく開いても、第2波、3波が来ると言われて、まだ安心できる状況ではありません。早くこの状況から脱皮したいと願うばかりです。

新型コロナウイルスの影響もありまして、この国全体の経済が見通せず、もちろん当社にとりまして、只今、大変な危機状態に直面しております。

なんとか、無事に新年度を迎える事ができました。昨年秋の次期役員選考の時から多くの方に助けて頂きました。また、幹事の瀬尾さんや三ヶ島さんには、先を見て次々と対応して頂いています。これから1年よろしくお願いいたします。お願いを兼ねまして、初めての会長報告といたします。

[表紙へ](#)

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・2020年7月のロータリーレートのお知らせ 1ドル=107円 ・2021-22年度 ロータリー財団奨学生募集について ・「第19回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
2	鞆の浦RCより ・第10回天野杯ロータリー親善野球大会 中止のご連絡
3	
4	

[表紙へ](#)

【プログラム情報】

【会長・幹事所信表明】

《会長 佐藤 教夫》



改めまして、本年度会長を務めさせていただきます、佐藤です。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。所信表明という事で御座いますので、この1年間の思いを述べさせていただきますと思います。

20-21年度RI会長、ホルガー・クナーク氏の会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリーの核心的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）に沿った、かたちで成長させようと言われていました。

また、脇地区ガバナーは、「不易流行」と「楽しくなくてはロータリーではない」をガバナー信条とされています。

これは、ロータリーの基本を守りつつ、時代に合わせて変革して行かなければならない。これを楽しくやれば、続けられますよ。とされているのだらうと思います。

以前、どなたかの例会情報の報告を読んでおりましたら、ちょうど20年前の西ロータリークラブの会員数は、56名であった。と書いてありました。

私が入会したのは6年前ですが、その時の会員数は44名でした。

そして本年度は33名でのスタートとなります。これは、西クラブ全体で、危機感をもって対処しなければならない課題であります。

会員増強だけの問題ではなく、退会を防止するためにも、会員のニーズを引き出し、それに応える為の会の運営方法の見直しなど全ての委員会の皆様と考えて行きたいと思います。この「不易流行」を楽しくやれたら、と考えています。

そこで、本年度は、仲間を増やして、かつ、減らさない活動に重点を置かなければならないと考えて、「ひろげよう、ロータリーの輪を」とさせて頂きました。

この1年間の重点目標をして、6項目をあげさせて頂きました。

① みんなで仲間を増やす活動をします

これは、只今お話ししました一番の重点となります。

会員増強は増強委員会で具体的な計画が立案されています。

② 委員会メンバー全員参加の委員会活動

委員長さんまかせではなく、自分が主体的に参加しているという実感。

私が入会した当初、委員会があるから来て下さいと言われ、参加しましたら、ただの飲み会で、何が決まったのかわからないうちに終わってしまった、という事が何回かありました。

これが結構楽しくて、普段あまり話ができない人とも仲良くなれました。最近は少なくなってきたのは少し寂しく感じます。

③ 国際奉仕事業への継続的な取り組み

ネパール支援事業が、コロナ禍その他の諸事情により、中断せざるを得ない状況になってしまいました。今後の西クラブでの国際奉仕活動をどの様にすすめて行くのか、他クラブの事例などを参考にしながら、研究してまいります。

④ 従来からの奉仕事業の見直し、新しい奉仕事業へ挑戦

西クラブで現在行っている奉仕事業には、長年の支援が喜ばれ、期待されている事業もありますが、だんだん時代の流れに合わなくなって行く事業もあるのでは、と思われます。「不易流行」という事を考えてみます。

⑤ クラブ細則等の見直し、長期ビジョンの検討

当クラブにおける、メイクアップの問題等を検討します。また、ホルガー・クナーク RI 会長の目標でもあります、「戦略会議」をどのような開き、進めてゆくのか。

この中で、「5年後にどのようなクラブになっているべきか」等、魅力あるクラブ造りをいかにすすめるかを検討します。

また、昨年度の「長期ビジョン検討委員会」の提言も参考にしたいと思えます。

⑥ 東日本大震災10年の節目にできる事を検討

2011年の東日本大震災から10年になります。私の入会以前の事で、詳しくはわかりませんが、ホームページを見ましたら、西クラブでは2011年から2014年までに、なんと5回も被災地支援訪問を実施していたのです。これはすごい事だと思います。

公式、非公式に係わらず、有志の方を募って、10年目の復興がどうなっているのか、訪問したいと考えています。

以前、当社の業界でも、ホテルに泊まるだけでも支援になる、との考えから、南三陸町で、全国大会を開催して、大変喜ばれました。

行くだけでも支援になるとは思いますが、できれば、山田 RC の皆様にお会いできたらなどと考えています。

本年度は、まだまだコロナウィルスの影響が残る1年になりそうです。残るというよりは、第2波、3波によりもっと酷い状況になってゆくのかも予測もつきません。

日本全体の経済状況も、当社の経営もどうなるのか大変不安な日々が続くものと思われます。ロータリークラブの運営も臨機応変の対応が求められるのではと思われますので、特に私の場合は、皆様の絶大なご支援、協力が必要ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

《幹事 瀬尾 義裕》



このたび幹事を拝命しました瀬尾でございます。平成 29 年入会の私が伝統ある西クラブの幹事職を預かることは身に余るのですが、ご氏名頂いた佐藤会長のご期待を裏切らないよう、クラブのため、誠心誠意、幹事職に向き合って参ります。

さて、今回の就任に際し、クラブにおける幹事はどのような役割を果たすべきか、幹事として担うべき最低限の業務を確認する必要があると考え、マイロータリーなどに公開されている様々な資料をあたっていたところ、「クラブを成功に導

くリーダーシップ：幹事編 2019-22」と題する公式資料に出会いました。この資料には、幹事の本来的業務として概要以下のものが挙げられています。

- ① 地区研修・協議会と地区大会への出席
- ② 前任幹事からの引継
- ③ 年間計画の取り纏め
- ④ マイロータリーへの登録参加
- ⑤ クラブ情報と会員情報の更新管理
- ⑥ クラブ請求書の作成
- ⑦ 理事会への参加
- ⑧ 例会や理事会の議事録作成
- ⑨ クラブに対するメールの授受管理
- ⑩ 各種会合資料の管理
- ⑪ 出席レポートの地区への提出
- ⑫ クラブ史料の保管
- ⑬ 年次報告
- ⑭ 会長、会計、各委員会への援助
- ⑮ 後任幹事への引継

勿論、このほかクラブの実情に応じた様々な業務があろうかと思っておりますので、上記を参考に職責を全う出来るよう努めて参ります。

次に、活動計画書の編集にあたっては、猛威を振るうコロナウィルスの影響を受け、事業を担当される理事役員の皆様との綿密な連絡が実施できず、幹事として半ば強引に取り纏めた部分がございます。本当に申し訳なく思っています。今後、活動計画の内容を実施していく場面において、各委員会と十分に情報共有し、クラブとして一体感のある活動となるよう配慮して参ります。

最後になりますが、本年度の幹事目標は「笑顔あふれる楽しいクラブ活動」と決めています。公私ともにお忙しい皆様のお時間を頂き、折角活動するからには、何よりも我々が楽しくなければならぬと思います。会員による「ロータリーの友」誌への川柳投稿など、少しでも楽しいことを考えていきたいと思っております。経験不足であり、至らない部分が多々あると思っておりますが、ご指導下さるようお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

【その他報告】

【“ロータリーの友”誌紹介】

ロータリー情報委員会 松井 宣久



7月号から新たに2つのコーナーが始まります。

1つはコミック「ポール・ハリスとロータリー」、ロータリーの創始者ポール・ハリスの生い立ちから、「決議 23-34」が制定されるまでのストーリーを1年に渡り連載されます。これにより、楽しく、古き良き時代のロータリーを知っていただきたいと思います。

2つ目は、「おとなの着こなし図鑑」ロータリアンが着る機会の多いビジネススーツに改めて着目します。ビジネスファッションのミニ知識、着こなしに関する悩み相談コーナーもあります。

ロータリーの機関誌は「The Rotarian」ですが、RIの認可を受ければ、ロータリーの地域雑誌となるわけですが、その認可の要件の一つに「The Rotarian」から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。それは、7月号では横組みの目次を見るとわかりますが、青色で白抜きでRIと表示されています。

横組みP36に2710地区のガバナーが紹介されています。

縦組みP4にはジャパネットたかたの前社長の高田 明さんの記事が載っています。

人は努力すれば必ず報われる。私の寿命は勝手に117歳と決めているということです。

人間は、ポジティブに、前向きに考えていけば道は開けると言われています。

[表紙△](#)